

平成 22 年度まちづくり功労者国土交通大臣表彰

国土交通省では、豊かでうるおいのあるまちづくりを推進するため、昭和 58 年から毎年 6 月を「まちづくり月間」と定め、まちづくり功労者に対する国土交通大臣表彰等の様々な啓発活動を実施しています。

平成 22 年度は、「まちづくり功労者」として全国で 46 団体が表彰され、茨城県では、「下館・時の会」と「土浦・中城倶楽部」が受賞いたしました。

■下館・時の会

平成 14 年に取り壊し寸前だった時計屋さんの石蔵を救出し、その保存改修活動を契機として「下館・時の会」は発足しました。

蔵を「時の蔵」と名づけ、ここを拠点に下館固有の歴史的文化的遺産を発掘、検証し、公開展示する活動を続けています。

これまでに、下館生まれの陶芸家板谷波山や書家浅香鉄心、下館に疎開していた詩人西条八十などの人物、また神輿や古地図、古写真など地域に残る文化遺産に関する展覧会を開いてきました。

蔵ゆえに、トイレ設備のないことが難点でしたが、全国的設計コンペを行い、平成 21 年に待望のトイレが完成しました。蔵の谷間に出現したそのトイレはグッドデザイン賞を受賞し、いはらきデザインセレクション 2010 で知事認定され、下館の新たな名所となっています。

【お問い合わせ先】

下館・時の会 (T's 設計室) TEL 0296-23-2607

■土浦・中城倶楽部

歴史ある旧水戸街道沿いの商店主からなる「土浦・中城倶楽部」は、市の「歴史の小径整備事業（電線地中化、石畳舗装）」と歩調を合わせ、歴史的町並み景観に配慮した行灯・暖簾を製作・設置することにより、風情ある歴史街道づくりに寄与し、まち歩きの楽しさをいっそう向上させることに貢献しました。

店先に設置された行灯は、会員自作の切り絵がはめ



土浦・中城倶楽部のメンバー



「時の蔵」と「トイレ」



時の蔵 (2 階)



行灯と暖簾

られ、夕暮れ時に明かりが灯り、影絵のように浮かび上がる光景は、中城通りに歴史的風情を醸し出しています。

まちかど蔵「大徳」や「野村」の蔵造りの街並みとマッチした商店街を目指し、中城通りがかつてのにぎわいを取り戻せるよう、これからもアイデアをこらした活動を行っていきます。

【お問い合わせ先】

土浦・中城倶楽部 TEL 029-821-1019

